

安全防除の指導

最近におけるわが国経済は、御存じの通り、工業製品の輸出によって支えられていて、近年特に急速に発展し貿易収支は、大幅な黒字となっている。これらの基盤産業では情報化の進展、コンピュータ、ロボットの利用など急速に増加しつつある。

このような産業構造の変化のもとに、外圧と内部事情が重なってわが国の農業も変化をよぎなくされて、付加価値を高めた販路の開拓が大きな課題となってきている。

さて、総理府が先般農家・非農家を対象に行なった「これからの農業に期待すべき点」のアンケート調査によると、一番多かったのが「自給率の向上」で54.6%、次いで「農薬を減らし安全な食糧の供給」が41.1%であった。また、全国農協中央会が都市生活者に「期待する農協事業」について調査したところ「新鮮で安全な農産物供給」が55.8%で圧倒的に多かった。これらは消費者の農産物安全性に対する関心が年々高まっているものを示すものであろう。

現在流通している農薬の安全性については、いうまでもなく農水省の厳しい審査のもとに登録されており、全く問題はない。要はこれらの農薬を使用する農家が、農薬の安全性について十分認識し、正しく使用するための指導を徹底することであろう。

系統農協では新しい安全防除運動として、60年12月から「安全防除全農家実践運動」をスタートさせた。これは安全防除の実践者である農家に農協職員が直接訪問し、庭先や圃場で対話をしながら安全防除を徹底させることを基本としたものである。

このためには農協職員の質的向上も必要であ

目次 (第20巻 第12号)

日本ナシの施設栽培…………… 2

＜佐賀県果樹試験場 広田隆一郎＞

1. 施設栽培化の背景…………… 2

2. 施設栽培の作型と品種…………… 3

3. 簡易被覆(トンネル)施設の概要…………… 4

4. ビニールの被覆と除草時期…………… 4

5. 果実の肥大生長…………… 4

6. 施設栽培果の品種…………… 5

7. 施設栽培園の特質…………… 6

8. 植調剤の利用…………… 6

9. 施設栽培のポイント…………… 7

昭和61年度水稻関係除草剤試験成績

概要…………… 8

＜財団法人 日本植物調節剤研究

協会 技術部＞

新除草剤・調節剤紹介

・ナプロアリニド・プロモブチド・

メフェナセット粒剤……………41

・ピラゾレート・プロモロブチド・

メフェナセット粒剤……………42

・ハービーエース水溶剤・ビアラホ

ス水溶剤……………44

り、従来から実施している農協防除指導員養成講習をはじめとする各種研修会を関係機関の指導を得ながら一層充実させると共に、農協の営農指導事業の体制整備と機能強化が重要であり、新たに営農指導強化対策について系統農協一体となって取り組みをはじめている。

安全防除の指導は農協に課せられた大きな使命と思っている。

(前全国農業協同組合連合会 肥料農薬部長 吉見康宏)